

お客さまサービスの取組み（混雑対策）

渋滞末尾への追突注意喚起対策やサービスエリアでの駐車場整理員の配置、臨時トイレの設置、大型車駐車ますの確保などお客さまサービスの強化に取り組めます。

[対策例]

①上り坂等での速度低下注意喚起



②渋滞末尾への追突注意喚起



③休憩施設等での駐車場整理員の配置



④臨時トイレの設置



⑤大型車駐車ますの確保



⑥道路情報板での渋滞延伸情報の提供



※3：渋滞延伸情報の提供対象となる区間は下記のとおりです。

E1 東名（東京IC～豊川IC）、E1A 新東名（厚木南IC～伊勢原JCT、御殿場JCT～三ヶ日JCT）、E4 東北道（川口JCT～矢板IC）、E6 常磐道（三郷JCT～日立南太田IC）、E17 関越道（練馬IC～昭和IC）、E50 北関東道（高崎JCT～太田藪塚IC、太田桐生IC～岩舟JCT、栃木都賀JCT～宇都宮上三川IC、笠間西IC～水戸南IC）、E51 東関東道（起点～成田IC）、E52 中部横断道（新清水JCT～富沢IC）、E65 新空港道、E14 京葉道路・館山道・富津館山道（鋸南富山IC～富浦ICを除く）、C3 外環道、C4 圏央道（あきる野IC～大栗JCT）、CA 東京湾アクアライン・アクアライン連絡道

※4：一部の情報板では赤い三角マークを表示できないものもあります。

首都圏の高速道路では、一部区間（※3）の

渋滞が増加傾向の場合には、

道路情報板に赤い三角マーク



を表示（※4）しています。

経路選択のご判断にお役立てください。

～お客さまへ安全走行のお願い～

- ・ 走行中の故障トラブルを防ぐため、走行前に車の点検をお願いいたします
- ・ 高速道路での落下物は、重大な事故につながります
出発前の確認はもちろん、長距離を移動するときにはロープの緩みがないかなど、SA・PAで再確認しましょう
- ・ 後部座席を含めて、必ず全ての座席でシートベルトを着用してください
- ・ ETCカードは確実に挿入してください
- ・ ETCレーンは、20km/h以下に減速して進入し、ETCレーン内は徐行してください
- ・ 給油やトイレはお早めに適度な休憩を取って安全運転に心掛けてください
- ・ 長時間の運転は事故のもとです
運転中に「眠気」や「疲れ」を感じたら、決して無理せず早めの休憩をお願いいたします
- ・ 渋滞の末尾での追突事故が多く発生しています
わき見運転をせず、渋滞末尾では早めのハザードランプで後続車に合図をするなど、追突事故の防止に心掛けてください
- ・ 二輪車の事故が発生しています
交通・気象状況をしっかり把握し、十分な車間距離をとって、安全な速度で走行してください
渋滞中の車両追い抜きは危険ですのでおやめください
- ・ 高速道路で人がはねられる事故が多く発生しています
事故や故障でやむを得ず車外に出る場合は、後方の車にハザードや発炎筒、停止表示器材で合図をし、ガードレールの外側など安全な場所への退避と、非常電話等で通報をしてください
- ・ 道路の異常は、非常電話または道路緊急ダイヤル『#9910』でお知らせください

～お客さまへ渋滞緩和へのご協力をお願い～

- ・ 渋滞予測情報を活用し、ピークを避けてご利用頂きますよう、お願いいたします
特に長い渋滞の回避例については【別紙-3】をご覧ください
- ・ 上り坂で速度低下に注意するとともに、車間距離を十分にとり、追い越し時以外は走行車線をご利用ください